東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

地域を育み、大地をつなぐ

Vol.44　第2163回例会　2011.4.14

今年度会長テーマ　温故知新　そして　和

■司会：
中條例会運営委員

■点鐘：山本会長

■合唱：ロータリーソング
「我等の生業」

◆ソングリーダー：
村田会員

■会長報告　山本会長

皆様こんにちは。今日を入れてあと3回の例会を終わりますと、私はこの演台に立たせて頂いて、ちょうど1年間になります。枚山直前会長が入院され5月の第一例会から、会長代行をやらせて頂きました。本当に月日が流れるのは早いものです。あと2ヶ月半の会長職、元気に頑張らせて頂きたいと思います。それから、しばらく例会に来ていない方、地震の義援金をよろしくお願いします。
さて10日の日曜日に立川パレスホテルにて新旧分区連絡会が行われました。今回は上野ガバナー、池田地区幹事、阿部ガバナー補佐、高木分区幹事、栗原次年度ガバナー補佐、藤野次年度分区幹事のご出席を頂き無事に引継ぎが執り行われました。詳細は小町次年度会長より報告をして頂きたいと思います。
それではスローガンを復唱させて頂きます。
①例会に出席し、メンバー間の懇親を深め、自分自身に有意義な例会を見つけよう。
　そして自分自身の例会出席の楽しみを見つけよう。
②例会を欠席したら、メークアップを必ずしよう。
③入会時のスポンサーは新人メンバーのメークアップの面倒を必ず見よう。
④食事の廃棄を少なくする為に例会を欠席する時には、前々日までに事務局に連絡を入れよう。
⑤夜間例会、懇親会、旅行に奮って参加しメンバーの懇親を深めよう。
⑥クラブメンバーの全員卓話を盛り上げよう。
⑦マイ箸を失くさない様に使おう。
⑧交換留学生をしっかりと育てよう。
⑨阿部ガバナー補佐の掲げた、キャッチアップ90
　(出席率90％以上)を実現しよう。
3月の出席率平均はかなり低迷していたようです。4月、5月、6月と残り3ヶ月は是非90％以上をお願いしたいと思います。皆様のご協力を宜しくお願い致します。
さて、震災後約1ヶ月が経ちましたが、復興にはこれからまだまだ永い時間と莫大なお金と労力がかかると思います。私たちはこの地で無事に生活できる事に心より感謝をし、地震災害にて亡くなられた多くの方々のご冥福を祈り1日でも早い災害地の復興を願いたいと思います。

■幹事報告　中丸幹事

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／野村　高章　石山　敬
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

■青少年交換委員会：
(在京)次年度地区青少年交換会議の案内について
5月27日(金)　15:00～17:00
於　国立オリンピック記念青少年総合センター

■東村山青年会議所：
4月度第一例会「東村山市長選挙公開討論会」案内の受理
2011年4月16日(土)　10:00～
於　東村山市民センター
※チラシを回覧します

■ガバナー事務所：
・「第2580地区ニューオリンズの夕べ」開催中止のお知らせ
・地区オン・ツー・ニューオリンズ委員長からのメッセージ

■東京福生ロータリークラブ：
2009～10年度幹事会のお知らせについて
2011年5月17日(火)　19:00～
於　五色(立川南口店)

■東京本郷ロータリークラブ：
「新世代会議」開催のお知らせについて
5月14日(土)　14:00～
於　文京区民センター3A
テーマ　「マネジメントと教育」
講師　岩崎 夏海　氏

■回覧：ハイライトよねやま

■出席報告　野村(裕)例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
36	26	1	6	81.82

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：2名
■前々回出席率メークアップ修正後：93.94%
■前々会メークアップ者：
樋口会員：新宿ＲＣ
飯田会員：所沢ＲＣ
石山会員：東京東大和ＲＣ
土田会員：所沢中央ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　山宮クラブ管理委員

◆田中会員：東北大地震災害に世界中から支援頂き、胸が熱くなります。感謝、感謝です。平成23年度クラブ対抗ゴルフ、正式に選手として出場が決まりました。補欠3年連続、漸く出場できます。喜びを胸にしまい、熱い思いで歴史に残るような成績を残し優勝に貢献したいと思います。
◆野澤会員：桜の下で一杯･･･といきたいところですが、その分義援金として送りましょう。
◆戸澤会員：野村さん、出席報告デビューおめでとうございます。これからロータリーを楽しんで下さい。
◆山本会長、中丸幹事：
4月10日の多摩分区新旧連絡会にご出席の皆様、日曜日にもかかわらずご出席ご苦労様でした。

本日のニコニコ合計：　14,000円
累　　計　：1,075,019円

■委員長報告

■小町次年度会長

第6回現・次年度合同多摩分区連絡会の件
分区連絡会の前に2011～2012年度会長・幹事だけで、昼食を 食べながら予備会議を実施。
多摩分区ガバナー補佐　栗原高明(武蔵村山ＲＣ)
多摩分区幹事　藤野　豊(武蔵村山ＲＣ)
◆分区連絡会議の開催場所については、各クラブの自主性にて判断(前年はパレスホテル立川に固定)
◆各クラブの新年度スタート時点の予想会員数は、以下の通り
青梅38　東村山35　福生22　東大和29　武蔵村山29　秋川49　福生中央28
◆東北大震災への義援金
今現在全体で、4億9000万円に達している。88年前の関東大震災の時は、1億5000万円で小・中学校の改修工事に充当。今回の義援金についてロータリーは、税金控除については関与しない。どうしても、税金控除を希望する方は、赤十字等へ寄付する事。

◆指導者育成セミナーでは、去年の10月に職場見学をした、亀戸天神の船橋屋7代目当主渡辺孝至の卓話。冒頭に健康が第一と力強く話されました。
◆2011～2012年度当クラブ組織表の各委員長発表
・クラブ奉仕　中丸繁男　・例会運営　石山　啓
・プログラム　目時俊一　・クラブ管理　赤木盛一
・会員増強　野澤秀夫　・会員研修　町田清二
・職業奉仕　當麻　誠　・社会奉仕　田中重義
・青少年奉仕　村田英雄　・国際奉仕　戸澤　忠
・青少年交換　樺澤　襄
・ロータリー財団　漆原次男
・米山奨学会　野崎一重
・宜野湾ＲＣ友好　樺澤　襄
◆地区委員
・オンツー・バンコク　山本智治
・米山奨学委員会　野崎一重
・バギオ評議委員　野村高章
・45周年実行委員長　野澤秀夫
以上皆様宜しくお願いいたします。

■米山記念奨学会より
カウンセラーの委嘱状が野崎一重会員に送られました。

■卓話

■卓話者：
野澤青少年交換委員長

青少年交換委員会の意義と役割

はじめに　―ロータリー運動とは―

ロータリークラブに入会する動機は様々です。ロータリーは多種多様な個人の集団であり、個人の輝きでもあります。その輝く個が活動することにより＜親睦と奉仕＞の輪が広がっていきます。またロータリーという飴はどこを切っても同じ絵柄は出ません。金太郎飴ではないのです。こちらを切れば環境保全、あちらを切れば青少年育成、はたまた米山、財団、根っこの方は四大奉仕と限りなく広がります。また時にはゴルフ、食事会とそれも友情、親睦の広がりであり楽しみ方の一つです。ですからロータリーは”あなた自身”なのであります。
しかしながらロータリークラブとなるとこれは組織であり団体です。組織には＜掟＞があります。従って会費の納入、例会の出席は第一の＜掟＞といえましょう。ロータリーはこれを義務ではなく、権利と言ってます。これらいくつかの決まりを義務として考えるのはクラブの会員となっただけです。これを権利として受容できるようになって初めてロータリアンとなれるのであります。
ロータリーという組織は一度足を踏み入れたら抜けられない”善良な紳士”(？)の集団です。従ってこの組織、集団をいかに守り継承するか、またどのように楽しむかも”あなた自身、自分自身”なのです。さらにいかなる組織、団体もそこに精神的、いわゆる倫理・道徳運動があるからこそ”心の活動”となるものです。
ではロータリーの魅力とは一体何なのでしょうか。ロータリアンとなった以上倫理・道徳を提唱し、世のため人のために働く”人をつくる”運動で、この人づくり、街づくりにはこれでよい、という答えはありません。またこれで完成という到達点もありません。正にロータリーは目的の見えない手段・事業を繰り返し、終点のない目的にひたすら向かって、それはゴールのないマラソンを走り続けているのと同じです。少年のような純粋な心で夢を求め追い続け、ひたすら＜奉仕の理想＞を追求する、このことが”ロータリーの魅力”なのではないでしょうか。

―青少年交換の意義と役割―

国際ロータリーの認証する四つの教育プログラムに、インターアクト、ライラ、青少年育成、青少年交換があります。この四つのプログラムは国際ロータリーが正式に認めた国際奉仕部門の教育プログラムであります。とりわけ青少年交換はロータリーの歴史の中で最も成果を上げているものの一つといわれています。当2580地区においてもすでに50年以上の歴史をもち、これまで500人を超える高校生を海外に派遣し、ほぼ同じ数の高校生を海外から受け入れてきました。このロータリーの交換留学ほど全世界的に認知され成果を収めているプログラムは他にはありません。それは留学の目的を単に語学研修や学生個人の能力の向上に置くのではなく、”平和の親善大使”として派遣先の国の生活と文化、そして歴史を学び、また自国の歴史と文化を広め交流を深めることにおいているからにほかなりません。学生たちはそれぞれの派遣先で精いっぱい文化交流の目的を達成するために努力を重ねて一年間の留学生活を過ごしてきます。帰国報告会をお聞きになった方ならこの学生たちの真摯な生活ぶりに感銘をお受けになったことと思います。
この素晴らしいプログラムを継続し、私たちの大きな目的の一つでもあります”世界の恒久平和”へ一歩でも近づいていくためにはロータリアンの皆様とそのご家族の絶大なご支援とご協力がどうしても必要です。今年度は当クラブでもハンガリーの高校生をホストして下さり大変お世話になりました。残念ながら原発の影響で帰国してしまいましたが、これを機会にこのプログラムをさらに理解していただきたくお願いする次第でございます。
来日、派遣を通して様々な国の学生たち、そして日本の高校生たちと一年間あるいはそれ以上付き合いますので、私たちもとても勉強になり、時に感動や意外な経験もたくさんします。私が委員長当時の6月、次年度派遣の学生の選考試験を実施した時のことです。その中に昨年不合格だった学生が応募してきました、選考の過程で委員全員はとても悩みました、しかし最後のグループディスカッションのとき彼女はとてもしっかりと次のように言いました、「私は去年受かりませんでした、でも自分の力で合格したい、そして外国で勉強したい」と、この熱意にほだされ合格としました。担当委員が電話で連絡するとこの学生は感激のあまり号泣し喜びました、これを聞いて私たち委員ももらい泣きをし「合格させてよかったね」と顔を見合わせホッとしました。ちなみに再チャレンジした例は今までなかったそうです。

この様に何度かの選考試験を重ねいつも思うことは皆たったの15才から17才のか弱い少年少女たちです。この子どもたちがたった一人でしかも一年間全く見知らぬ国や人と生活します。この勇気にまず感心します、そしてその子を理解し協力してくれるご両親にも敬意を表します。私たちには考えられないことです。そして外国で一年間勉強し帰ってくると帰国報告会を行い外国での様々な体験や成果を発表する機会を作ります。このときお母さんのお話を聞く時間もとります。ある母親は「私の娘は一ヶ月くらい毎日泣いて電話をしてきました、私も電話口で泣きました、でもあなたは自分で希望していったんでしょ、多くの人たち、特にロータリーの方々のおかげで留学できたのよ、だから頑張りなさい」と、親の気持ちとしては今すぐにでも帰ってきなさい、と言いたいでしょう、電話を切っても涙が止まりませんでした。と、こんなお話を聞くたびに青少年交換委員としての使命感を感じたところであります。この様にして皆それぞれの国で厳しくつらい経験と反面温かい人々の友情もたくさん頂き一回りも二回りも大きくなって帰ってきます。教育とは親子であろうと、先生と生徒であろうとまたボランティアであろうと決して教え育てることではなく、長い時間をかけながら共に育っていく、将来の夢を共感する、というお互い心の共有を覚えてはじめて教育というものが成り立つのではないでしょうか。

青少年交換は三年委員ですので一人の学生とは少なくとも三年は付き合います。前年帰国した学生とこんな話をしました。「野澤さんはまだ青少年交換委員をやってるんですか」「そうだよ、この委員会は三年委員制度だからね」「私たちのためにそんなにやるんですか」続いてロータリーの話に広がって、「ロータリアンさんていつまでやるんですか」と質問されました。私は「ロータリーに定年はないんだよ、もしかして一生かも･･･」すると「どうしてそんなにやるんですか」と、とても興味深くいろいろ聞いてきました。「ロータリー運動とは＜親睦と奉仕＞といって活動に終わりはないんだよ」そしてさらに「ロータリーは見返りは求めない奉仕団体なのです。いろいろな活動はみな手段であって、目的は人づくりなんです。皆さんにも留学の機会と費用は出してあげるけど帰ったらあれをしなさい、これをしなさいなどとは言いません、また制約もありません、”小さな国際親善大使”としての種は播きますが、それをどのように育て刈り取るかはあなた方次第なのです、ロータリーは＜奉仕の理想＞を追い続けるのが夢なんです」と、その学生は目を輝かせて「ロータリーってすごいですね！」こんなひと時もありました。こんな感激を味わったとき、ロータリアンとしての冥利感をも感じるものであります。

池田大作は創価学会の教祖様、お題目は「南無阿弥陀仏」、ベーデン・パウエルはボーイスカウトの教祖様、お題目は「備えよ常に」、そしてポール・ハリスはロータリー教の教祖様、お題目は「奉仕の理想」、いずれの活動もこのお題目を唱えることにより洗脳されていきます。お陰さまで私も入会以来ポール・ハリスという教祖様に洗脳されっ放しでございます。

ロータリーは魅力がない、マンネリだ、自分にとってメリットがない、退会者が多い、ロータリーのロの字もわからないうちに、経済的理由も含めて。ケネディ大統領。あなたはアメリカに何を求めるかではなく、アメリカのためにあなたは何ができるかです。ロータリーも同じ。クラブは会員一人ひとりのためのメニューは出せない。一人ひとり嗜好は様々です。あなたはロータリーのために何ができるのか、その提案の場はいつでもあります。会員は皆一国一城の主。従って余計なことはなるべく言わない、人面を良くする、紳士になってしまう、偽装紳士かも･･･。ユニークな個性の集まり、一人ひとりの個の輝きが、クラブという集団の輝きに繋がる。クラブに活性がある。言い換えれば輝いている会員が多い、ということに他ならない。クラブに魅力がない。例会はつまらない、マンネリだ、このことは自分がつまらない、自分に魅力がない、ということになる。個の輝きを引き出すのが親睦委員会であり、出席委員会であり、プログラム委員会でもある。メンバー一人のアイデア、メンバー一人のやる気を見出す、これが二人に、五人に、と、相乗効果を生み出す。これが逆だったらどうでしょう。言わずもがなであります。

ヤクザ、右翼は社会の必要悪。ロータリーは社会の必要善。ロータリーの集団は黒っぽい背広に統一されたバッヂ、日の丸を掲げ君が代を歌う。これで半分くらいのメンバーがサングラスでもつけていたら正にヤクザの集団、ただしロータリアンはやさしいおじさん、年配者も多いですから、シルバーヤクザとでも言いましょうか。

入会のセレモニー。歯車のバッヂを付けられ、綱領と4つのテストというお題目の額を渡される。これはクラブという刑務所で終身刑を言い渡される。いっそのこと退会者は指を詰めるとでも言いましょうか。

最近のロータリアン。倫理・道徳もかなぐり捨てて、なりふり構わず金儲けに走り続ける輩も･･･。ロータリーの風上にも、風下にもおけない。どうせ走り続けるのなら奉仕の理想を求めて走り続けて欲しいです。

会員増強。質か量か。比べるのは間違い。人間の質は誰が決めるのか。

入会には一定の条件。これをクリアーして会員となる。量の中から質を磨く。イモ洗いのイモ。磨かれたイモは桶を飛び出す。ガイ・ガンディカーは「ロータリーの通解」の中で「ロータリーは上辺だけの人間を作るのではなく、人間の体質改善を行うものである。ロータリーの内部で体験を積むにつれて人はロータリアンとなる」

成田空港への送り迎え。7月～8月は出国、帰国のピーク。インバウンズ。日本で一年間過ごした学生が帰って行く。これから日本で留学する学生が来る。アウトバウンズ。外国に留学していた学生が帰って来る。これから留学する学生が出国する。この四者が空港で入り乱れる。

担当制にする前は一人の委員が7、8回は成田詣で、1年目：なんでこんなに何回も、嫌々だから足取りは重い。2年目：まあ、しょうがねぇか。少し足取りは軽くなる。3年目：殆ど苦にならなくなる。楽しくなる。4年目：大変という思いは全くなくなる。また行きたくなる。

お陰さまで成田空港は隅から隅まで、レストラン街で、和食はあっち、中華はこちら、洋食はソバ屋はと、警察署は向こう、反対側に住吉会の事務所が、救急病院はあそこ、その裏側に葬祭場、マッサージルームは三階の一番端、その奥にソープランド、一番近いゴルフ場は、一番安いホテルは、青少年交換は大変だ、三年もやる、金もかかる、全クラブに悪印象が知れ渡る。私の入った時は五人、一年間は見ているだけで良い。それがとんでもない、前年の委員がいない、なぜだ･･･。初委員会のオリエンテーションで説明が終わり名刺の箱を渡す。それをスーッと戻し、そんなことは聞いていませんでした、と席を立つ。俺も私もと二、三人途中でリタイアするは、一年で辞めるわ、こうなったら開き直り、大変だを返上し、青少年交換は楽しい、これを言いふらそう。たまたま五人とも酒が好き、ゴルフもやる。おかげで委員の数も年々増える。

■第10回(4月度)理事・役員会

2011年4月6日(水)　　於　小千谷 18:30～

■3月の収支明細報告について
赤木会計より報告があり、報告の通り承認された。

■その他
①ＦＲＣ開催について
ＦＲＣが東日本大震災で延期されたが、6月8日(水)に実施されることになり、6月9日(木)の例会をＦＲＣに例会変更とすることが承認された。

②全国ロータリークラブ野球大会事務局から義援金のお願い
当クラブは地区義援金に一元化することとし承認された。

③親睦旅行について
3月に予定されていた親睦旅行が延期されていたが、野村クラブ管理委員長より社会情勢を考慮し6月16～17日に実施したい旨の報告があり、
移動例会として開催することを承認した。

■23年3月出席表

	氏　　名	3	10	17	24	31	
名	細渕　一男						
1	相羽　　正		○		○		66.67
2	赤木　盛一	○	○		○		100
3	樋口　剛史	○	○		△		100
4	土方　義一	○	△		○		100
5	飯田　能士	△			△		66.67
6	石山　　敬	○	○		△		100
7	樺澤　　襄	○	○		○		100
8	金子　哲男	○	○		○		100
9	北久保眞道				○		33.33
10	熊木　敏己		△				33.33
11	小町　幸生	○	○		○		100
12	町田　清二	○	○		○		100
13	目時　俊一	○	△		○		100
14	村田　秀雄	○			○		66.67
15	中條　基成	△	○				66.67
16	中丸　繁男	○	○		○		100
17	二ノ宮　繁	免除	免除		免除		免除
18	野村　高章	○	○		○		100
19	野崎　一重	○	○		○		100
20	野澤　秀夫	○	○		○		100
21	嶋田　憲三	○	○		○		100
22	杁山　佳雄	△	△		○		100
23	田中　重義	○	○		○		100
24	土田　士郎	△			△		66.67
25	當麻　　誠	△	○		○		100
26	戸澤　　忠	○	△		○		100
27	漆原　次男	○			○		66.67
28	山宮　　隆	○	○		○		100
29	山本　智治	○	○		○		100
30	野村　裕夫				入会式		100
公式平均		90.91	87.88		93.94		90.91
出席規定適用免除者							
1	隅屋　宜一	○	○		○		
2	五十嵐光利	○	○		○		
3	木下　清一						
4	神﨑　　武	○	○		○		
5	高橋　　眞						
6	村越　政光	○	○		○		

名：名誉会員　　○：出席　　△：メークアップ

■点鐘：山本会長